

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備(格納容器圧力逃がし装置))

No.	管理番号	審査会合日	指摘事項	回答
1	052-012	2013/11/28	格納容器圧力逃がし装置(フィルタベント)の基本性能(除染係数, 排気を妨げる要因がないこと等)の根拠となる実験データ等を説明すること。	回答準備中
2	052-013	2013/11/28	格納容器圧力逃がし装置(フィルタベント)の収納建屋等の外部事象に対する耐性を説明すること。	平成27年1月27日 資料1-1, 資料1-2
3	052-014	2013/11/28	格納容器圧力逃がし装置の運用方法, 各運用方法に応じた放射性物質除去性能, 作業環境, 操作性等の成立性を説明すること。事故後の周辺作業環境等復旧作業を制約する要因がないことを説明すること。	回答準備中
4	052-015	2013/11/28	格納容器圧力逃がし装置使用時の一般公衆の被ばくをできる限り低減する方策が取られていることを説明すること。特に, 水で除去が困難なガス状放射性物質の低減対策について検討の上, 説明すること。	本日回答 資料2-3 2.
5	052-019	2013/11/28	航空機が格納容器圧力逃がし装置に衝突した場合, 格納容器の過圧等による破損を緩和するための対策を説明すること。	平成27年1月27日 資料1-1, 資料1-2
6	132-001	2014/8/26	一次隔離弁周辺及びフィルタベント装置周辺における操作の成立性(作業が必要な時期, 操作に要する時間, 線量)について説明すること。	回答準備中
7	132-002	2014/8/26	代替FCVS, よう素フィルタの許認可上の整理をすること。	本日回答 資料2-3 6.1.3
8	132-003	2014/8/26	最高使用温度200℃, 最高使用圧力2Pdの妥当性について, FP付着による局所的な温度上昇等も考慮して説明すること。	回答準備中
9	132-004	2014/8/26	装置の設備容量として, どの程度のエアロゾルを捕集できるのかを示し, ある程度厳しいシナリオでも対応できることを説明すること。	回答準備中
10	132-005	2014/8/26	意図的な航空機衝突事象への耐性について, 格納容器圧力逃がし装置の代替として, 耐圧強化ベントを使用するとしているが, 放射性物質の低減はできず, 代替とはなり得ない。原子炉建屋と同等の衝突耐性を持たせる, 別途代替の設備を設けるなどにより, 設置許可基準規則第50条等の規制要件を満足できる措置を講じること。	平成27年1月27日 資料1-2
11	132-006	2014/8/26	S/C及びスクラバ水pH管理について, 不均一性や化学反応によるpHの変動も考慮して, 7を下回らないような具体的な管理方法とその成立性について説明すること。	回答準備中

No.	管理番号	審査会合日	指摘事項	回答
12	132-007	2014/8/26	主排気筒ではなく原子炉建屋屋上からの放出とした根拠について、定量的に説明すること。	本日回答 資料2-3 別紙8
13	132-008	2014/8/26	粒子状放射性物質量の評価について、MAAPでの最適評価を行っているが、物理現象の不確かさが大きいことを踏まえて、評価の妥当性、包絡性を説明すること。	回答準備中
14	132-009	2014/8/26	エアロゾル除去性能について、DFの粒径依存性(低粒径でDFが下がる)や粒径分布のばらつきを考慮してもDF1,000を満足することを説明すること(解析の不確かさ、実験の不確かさ)	回答準備中
15	132-010	2014/8/26	スクラビングと金属フィルタで除去を補完しあい、一定のDFを確保していると考えますが、単体での試験結果等を用いて、部分毎のDFを説明すること。	本日回答(一部) 資料2-3 別紙12
16	132-011	2014/8/26	湿分分離のメカニズムについて、実機の構造に即した詳細な説明を行うこと。	本日回答 資料2-3 別紙12
17	132-012	2014/8/26	長期間使用時のFPの保持性能について、再浮遊の可能性等を踏まえて説明こと。また、長期間使用時のスクラバ水の水質への影響を説明すること。	本日回答(一部) 資料2-3 別紙13
18	132-014	2014/8/26	装置内の化学反応について、発熱反応か吸熱反応かを示すとともに、装置の性能への影響について評価し説明すること。	回答準備中
19	132-015	2014/8/26	格納容器の過圧破損防止の観点から、系統の圧力損失が十分小さく必要な流量が確保でき、速やかな圧力低減が可能であること。	本日回答 資料2-3 別紙18
20	134-001	2014/9/2	各現場操作を行う場所を具体的に説明すること。	本日回答 資料2-3 4.1.2
21	134-002	2014/9/2	D/Wベント時のスクラバ水の水位上昇について説明すること。	回答準備中
22	134-003	2014/9/2	S/C水の水質管理(pHコントロール)手順について説明すること。	回答準備中
23	134-004	2014/9/2	フィルタベント使用時に閉状態の隔離弁を抜けて系統外へ漏出する水素の影響について説明すること	回答準備中
24	134-005	2014/9/2	6号機, 7号機で放射線モニタの位置が異なることに関し、測定装置としての妥当性について説明すること	回答準備中
25	134-006	2014/9/2	フィルタ装置出口配管内の放射性物質濃度の評価について、線量率から放射性物質濃度を求めた過程を示すこと	本日回答 資料2-3 別紙3

No.	管理番号	審査会合日	指摘事項	回答
26	134-007	2014/9/2	窒素ボンベライン及びドレンラインの漏えい確認など、実施すべき点検項目は確実に抽出すること。	本日回答 資料2-3 5.1点検方法
27	134-008	2014/9/2	(ドレン)ポンプ室の漏えい対策を説明すること	回答準備中
28	134-009	2014/9/2	(スクラバ水の)下限水位について、設定根拠となる試験結果を説明すること	本日回答 資料2-3 別紙6
29	134-010	2014/9/2	AO弁のラチェットによる操作の実現性(操作場所の線量評価結果を含む)を説明すること。 AO弁の遠隔手動操作を行う場合、試験結果(エクステンションの妥当性確認方法)を含めて実現性を説明すること。	回答準備中
37	200-003	2015/2/26	多重化されていない第2弁以降の開の信頼性について説明すること	本日回答 資料2-3 1.2.2
38	200-005	2015/2/26	第3弁の開運用について、方針が固まり次第説明すること	本日回答 資料2-3 別紙16
39	200-006	2015/2/26	圧力逃し装置の流路の確保として、隔離弁にAO弁を使用することの妥当性について十分に検討し説明すること	本日回答 資料2-3 4.1.2, 別紙17
40	200-007	2015/2/26	AO弁の二次格納施設外からの手動遠隔操作について検討すること	本日回答 資料2-3 別紙16
41	200-004	2015/2/26	新規制基準のコンセプトを踏まえて、系統構成及び弁の種類を再考すること	本日回答 資料2-3 1.2.2
42	200-008	2015/2/26	他系統との隔離に関して、柏崎で用いられている閉止板について、どれぐらいの性能を宣言するのか説明すること。また、SGTS系統のFOの弁の人力閉操作について、時間の観点や環境条件も含めて実現可能性を説明すること	本日回答 資料2-3 別紙17
43	200-001	2015/2/26	他系統との隔離の最初の弁に行き当たるまでの系統の上下の位置関係(エレベーション)について、水素が留まらないかという観点で系統が固まった時点で説明すること	回答準備中
44	200-009	2015/2/26	SGTSの吸気の接続場所について、工夫できないか検討すること	本日回答 資料2-3 別紙17
45	200-002	2015/2/26	それぞれの隔離弁について、さらされる環境を想定し、耐久性を説明すること	回答準備中
46	216-001	2015/4/7	ベント準備作業に関連して、屋外の線量評価が出来次第説明すること。また、RHRの復旧が早くなった場合でも屋外作業が成立することを説明すること。	回答準備中

No.	管理番号	審査会合日	指摘事項	回答
47	216-002	2015/4/7	ベント実施について、第三者の関与がないということを文書で改めて提出すること。	本日回答 資料2-4
48	216-003	2015/4/7	37条と設備の各逐条との関係を踏まえて、有効性評価に基づいた余裕時間の他、福島第一事故等の実際の事故を想定した余裕時間を説明すること。	回答準備中
49	216-004	2015/4/7	漏えい検知設備の設置場所の妥当性、漏えい判断のしきい値、漏えい時の対応方針(SGTS使用など)について説明すること。(建屋水素対策にも関連)	回答準備中
50	216-005	2015/4/7	ベント準備作業のうち、速やかにベントする必要がある場合(漏えい検知時等)にベント後に回せる項目を明確にすること。	対象外 (ベント実施前の準備は必要な作業のみを実施(4.1.2aに記載済))
51	216-006	2015/4/7	ベント実施の判断について、総合的に判断するとしているが、ベント実施前に準備しておくべきことを示すこと。	対象外 (ベント実施前の準備は必要な作業のみを実施(4.1.2aに記載済))
52	216-007	2015/4/7	アーリーベント実施後に停止する弁操作について、手順を整理して説明すること。また、当該操作の際に、閉めることができるかどうかの確認はできるか、故障した場合の確認について説明すること。	本日回答 資料2-3 4.1.2.d
53	216-008	2015/4/7	PCVからの漏えいを確認した場合のW/Wベント、D/Wベントの選択基準を示すこと。	回答準備中
54	216-009	2015/4/7	W/Wベント、D/Wベントの選択について手順で明確にするとともに、手順通りに実施されたことの確認方法、失敗した場合の措置を説明すること。	回答準備中
55	216-010	2015/4/7	放出位置の評価について、風向の出現頻度等のデータを提示すること。	本日回答 資料2-3 別紙8
56	216-011	2015/4/7	フィルタベント設備の圧力損失の式のデータまたは適用範囲を示すこと。	対象外 (平成27年4月7日 資料1-4 7.圧力計算の詳細 に記載済)